

自分と相手の身を守る安全確保術

スタッフ自身が迷惑行為・暴力行為の脅威から身を守る最終手段

【概要】 流通業スタッフの約75%が客からの迷惑行為に遭遇し、約2%のスタッフが暴力行為の被害に遭っています。クレーム対応マニュアルを整備していても、一線を越えた迷惑・暴力行為への対応は現場任せになってしまっているのが現状です。これらの行為が引き金となり、離職や配置転換を余儀なくされるケースも少なくありません。護身については現場のスタッフのスキルに依存する要素が強く、**スタッフが受傷する事例はもちろん、武道・格闘技経験のあるスタッフが相手にケガを負わせた事例**などもあります。大切なスタッフを守ることはもちろん、間違った対応による**事後クレーム防止**のためにも、正しい技術を身につけていただくためのセミナーです。

【対象】 クレーム対応部門スタッフ / サービス業における現場責任者および現場スタッフ / 行政機関職員
看護師・医師をはじめとする医療機関スタッフ / 介護施設スタッフ / その他

【人数】 10名以下推奨 **【時間】** 標準3時間（座学1時間+実技2時間）
※適宜小休憩をとります。内容はご要望に応じてカスタマイズいたします。

【内容】

暴力行為を招く
3つの要素

一般的な護身術が
使えない理由はコレ！

パーソナルスペースと
安全な距離の取り方

殴られた・掴まれた
女性でもすぐできる防御

駆け付け応援時の
対応術



- 暴力行為を招く環境とは
- 脅しのパターンとその意味
- 必要以上にビビらない方法

- よくある護身術をやってみよう
- なぜ、一般的な護身術の多くは使えないのか？
- このセミナーの護身術との違い

- 安全な距離ってどれくらい？
- 右？左？相手のどちら側に立つかで安全度が変わる
- 安全な距離を保つためのフットワーク術

- 防御力の高い構え方とは？
- 女性でも瞬時に筋力が3倍になるスゴ技！
- スゴ技を使った防御法
- 怖くてすくんでしまった時に、身を守る最終手段

- 客同士のトラブル仲裁法
- トラブルに巻き込まれた同僚の救援方法

【講師】



皆川 博伸 危機管理コンサルタント / 1秒護身術トレーナー / 防犯設備士 / 株式会社STU代表取締役

師事したのはプロのボディガードの技術指導にあたる国内トップクラスの現役指導員。FBIやSWAT部隊も採用する格闘術と要人警護の現場のノウハウを学んだ。同じ指導員に師事した仲間が、福岡市に「女性や体力に自信がない人でも無理なくできる」をコンセプトにした護身術専門教室「トータルディフェンス」を開設。そのスターティングメンバーとして参画。体力的に不利な女性の意見・感想を強く反映した、「90分の護身術体験」を完成させた。体験者から「格闘術や合気道のイメージがあったが、全く違った」「本当にすぐできる」との評価を頂く。「この護身術体験をもっと必要としている人はいないか？」そう考えたとき、会社員時代にある病院から院内暴力対策の相談を頂いたことを思い出す。「90分の護身術体験」を医療機関向けにブラッシュアップ。モンスターや酔っ払いからの暴力に悩む医療機関・接客業スタッフ向けに展開。理不尽な暴力が原因とする離職者ゼロを目指して活動している

【実績】 ※法人向けサービスは2018年6月より開始

- 福岡市就労準備支援事業・就労支援事業
- 株式会社えんコーポレーション
- 食品スーパー（長崎県）
- アラカンフェスタ実行委員会事務局
- NPO法人 Gaia
- あたごはま幼稚園 他

【お問い合わせ】



株式会社 STU

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南 1-3-8 博多パールビル 801



092-600-1177（受付 平日 9:00~18:00）



mail@s-techunit.com



<http://s-techunit.com/contact.html>